



— 患者と医療者とのコミュニケーション講座 —

あなたが、がんと言われた時、 がんを告げる時に

2010年10月24日(日) 13:30-16:00

場所：愛媛県総合保健協会（松山市味酒町1丁目10番地5）

- 13:30 開会挨拶(おれんじの会)
- 13:35 基調講演「がん患者もコミュニケーション能力を高めましょう!」(患者と医療者とのコミュニケーション講座)
講師：山口育子氏
- 14:30 山口育子氏指導によるロールプレイの実践
- 15:55 閉会挨拶(愛媛大学医学部腫瘍センター)

◎プロフィール/大阪市生まれ。自らの患者体験から、患者の自立と主体的医療への必要性を痛感し、1991年11月COMLと出会う。活動趣旨に共感し、1992年2月にCOMLのスタッフとなり、相談、編集、渉外などの担当責任者として今日に至る。2002年4月に法人化したNPO法人ささえあい医療人権センターCOMLの専務理事兼事務局長。

NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)

1990年9月に活動をスタート。「いのちの主人公」「からだの責任者」である患者・市民が中心になって、専門家の支援を得ながら主体的医療参加の意識啓発活動を展開中。合言葉は「賢い患者になりましょう」。「あえて」医療にも消費者の目を向け、患者が主体的に参加しようと、活動を通して出会う一人ひとりに呼びかけている。活動内容は、会報誌「COML」の発行、電話相談、ミニセミナー「患者塾」、SPグループ(SP: Simulated Patient; 模擬患者)、病院探検隊、患者と医療者のコミュニケーション講座、医療で活躍するボランティア養成講座など。患者と医療者のよりよいコミュニケーションを構築するための活動を通じ、患者と医療者がお互いに信頼し合いながら「協働関係」を築くため、「対話と交流」のなかで気づき合い、歩み寄る関係づくりを目指している。

